

2021年度から法人の事業運営について検討を始めてきましたが、2024年度は、今後さらに多くの人に活動を届けていくために、ウェブサイトや情報発信の内容見直しの検討の他、ボランティアミーティングを開催し、活動のあり方について意見交換を行いました。様々な場所から参加できるオンラインの交流会は継続し、対面でのイベントも開催しました。

「心臓弁膜症をもつ人のいまとこれからを、より良いものにするために」、これが私たちの使命です。

この使命を達成するために、今後も以下4点の促進を目指します。

- ・疾患に対する本人・医療者・社会の理解を促します
- ・治療に対して本人が積極的に取り組めるよう促します
- ・心臓弁膜症をもつ人同士の連携や協働を進めます
- ・心臓弁膜症をもつ人による社会（行政・市民）や医療者への働きかけを進めます

1. 会員数

2024年12月末時点の社員数・会員数は下記の通りです。

社員数（議決権あり）：4名 会員数（議決権なし）：489名

2. 団体運営業務

本年度の事業実施状況は、以下の通りです。

月	日	内容
2月	2日	日本循環器協会主催Go Red for Women Japan 健康セミナー「女性のココロと心臓のはなし-赤をまとい女性の心臓病を考える-」パネリスト登壇（寺田）
3月	8日-10日	日本循環器学会患者会ブース展示
	14日	Global Heart Hub 心臓弁膜症協議会オンライン参加（福原）
	15日	ピーベックwith Heartプロジェクト2024「立石実先生 講演会&交流会」共催
	20日	市民公開講座「循環器病後の豊かな生活を目指して：脳卒中・心臓病後の維持期・生活期リハビリテーションと社会生活」後援・パネリスト登壇（福原）
	28日	東京都保健医療局 とうきょう脳卒中・心臓病ガイド ウェブサイトに体験談寄稿（福原）
4月	7日	産経新聞 一般社団法人日本循環器協会主催の公開セミナー「女性のココロと心臓の話」記事掲載（寺田）
	15日	藤原正樹さん 体験談ウェブサイト掲載
	22日	支援者向け報告会実施
5月	8日	ニューハートワタナベ国際病院にリーフレット設置
	12日	After Surgery Fun Run協会「After Surgery Fun Run TOYOSU 2024」後援
	17日	日本循環器協会「循環器病患者みんなのWA」出席（福原、大場）
	29日	大場奈央（理事）体験談ウェブサイト掲載
6月	4日-5日	アイルランドで開催されたGlobal Heart Hub 心臓弁膜症協議会に参加（福原）
	10日	日本医療政策機構 医療DXプロジェクト 当事者ヒアリング調査報告「医療のDX時代を迎え生きる当事者たち」公開（福原）
	15日	オンライン交流会開催

	16日	日本循環器協会「循環器病患者みんなのWA」出席(福原、大場、寺田)
	18日	年間を通した心臓弁膜症啓発キャンペーン EvergreenをSNS・特設ウェブサイトで開始
	20日	エドワーズライフサイエンスにて日本の弁膜症治療について講演(福原)
	24日	エドワーズライフサイエンス「Patient Experience 患者さんのお話を聞く会」「心臓病を治療された方のインタビュー」への協力
7月	2日	中国の心臓弁膜症患者団体 Banmo520 へ当会の活動を紹介(福原)
	3日	木村慎司さん 体験談ウェブサイト掲載
	19日	日本循環器協会「循環器病患者みんなのWA」出席(福原)
	21日	東京 脳卒中・心臓病等総合支援センター都民公開講座「2024心臓を守る親子教室」後援
	30日	高知県立大学看護学部「心疾患をもつ方の服薬アドヒアランスを維持するための取り組み」についての研究への協力
8月	2日	日本医療政策機構が運営する患者・当事者の参画を支援する会員制ウェブサイト「みんなの患者・当事者参画プラットフォーム(J-PEP: Japan's Patient Expert Platform)」参画者として掲載(福原)
	3日	健康ハートの日2024オンライン勉強会開催
	13日	ニューハートワタナベ国際病院訪問(福原)
9月	6日	東京大学医学部公衆衛生学 東 尚弘教授訪問(福原)
	16日~22日	心臓弁膜症啓発ウィーク実施
	20日	日本循環器協会「循環器病患者みんなのWA」出席(福原)
10月	1日	東京都立大学 看護学科「開胸術を受けた心臓疾患患者のリハビリテーション時の医療者の関わり」研究協力者募集支援を実施
	1日	山田直樹さん 体験談ウェブサイト掲載
	18日-20日	タイ・バンコクで開催された「ASIA-PACIFIC HEART SUMMIT 2024」、「APAC CVD PATIENTS' ROUNDTABLE」に参加(福原)
	25日	オンライン交流会開催
	27日	ボランティアミーティング開催(ハイブリッド開催)
11月	10日	日本循環器看護学会設立20周年企画市民公開講座登壇(寺田)
	15日	日本循環器協会「循環器病患者みんなのWA」出席(福原)
	17日	対面による勉強会・交流会開催
12月	3日	Global Heart Hub心臓弁膜症協議会オンライン参加(福原)
	8日	NHKエデュケーショナル市民公開講座「もっとわかる! 心臓病進む治療 心臓弁膜症と心筋梗塞」後援
	20日	日本循環器協会「循環器病患者みんなのWA」出席(福原)



2024年2月2日 日本循環器協会主催Go Red for Women Japan 健康セミナー「女性のココロと心臓のはなし-赤をまとい女性の心臓病を考える-」



2024年3月8-10日 日本循環器学会患者会ブース展示



2024年10月18-19日
「ASIA-PACIFIC HEART SUMMIT 2024」



2024年10月20日
「APAC CVD PATIENTS' ROUNDTABLE」



3. 資金調達・収支報告

貸借対照表の要旨
(2024年12月31日現在)

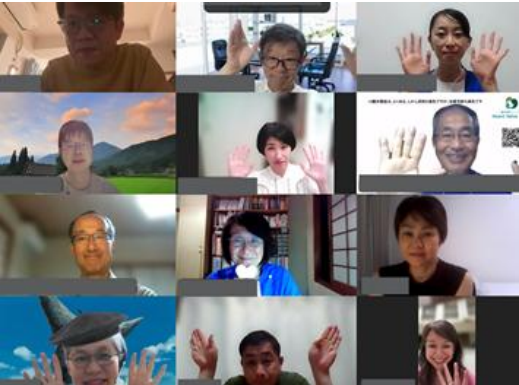
科目		当年度 (千円)	前年度 (千円)
資産の部	流動資産	5,272	5,386
	固定資産	0	0
	合 計	5,272	5,386
負債及び	流動負債	1,281	1,116
正味財産の部	固定負債	0	0
	負債合計	1,281	1,116
	指定正味財産	0	0
	一般正味財産	3,991	4,270
	正味財産合計	3,991	4,270
	合 計	5,272	5,386

正味財産増減計算書の要旨
(自 2024年 1月1日
至 2024年12月31日)

科目	当年度 (千円)	前年度 (千円)
経常収益	7,311	7,154
経常費用	7,520	6,654
(うち事業費)	4,594	3,730
(うち管理費)	2,926	2,924
評価損益等	0	0
経常外収益	0	0
経常外費用	0	0
法人税、住民税及び事業税	70	70
当期一般正味財産増減額	▲279	430
正味財産期末残高	3,991	4,270

ご寄付いただいた企業 (50音順)
エドワーズライフサイエンス合同会社
日本メドトロニック株式会社

ご寄付いただいた個人
5名の方(内、継続寄付2名)



2024年6月15日 オンライン交流会



2024年8月3日 健康ハートの日
オンライン勉強会



2024年11月17日 対面交流会



2024年11月17日 対面勉強会



4. (ア)心臓弁膜症の治療やケア、予防及び生活における課題解決に関する知識の普及と啓発に関する事業

心臓弁膜症の治療やケア、予防及び生活における課題解決に関する知識の普及・啓発として、勉強会、相談対応を実施しました。

オンライン勉強会

演題名	健康ハートの日記念イベント 「あなたの望む治療をするために」～心臓弁膜症と歩む道のり～
日時	2024年8月3日(日) 13:00～15:00
講師	東京大学医学部附属病院内科診療部門循環器内科 桐山皓行助教
対象	心臓弁膜症と診断された方、手術を控えている方、手術後の方、家族、支援者、医療従事者、その他関心のある方
費用	無料
形式	オンライン会議システムZOOM
内容	1)講義「ペイシェントジャーニー」とはどのようなものか 2)講師への質問、参加者からの工夫の紹介 後援:日本循環器協会
参加者数	17名

健康ハートの日2024

「あなたの望む治療をするために」
～心臓弁膜症と歩む道のり～
オンライン勉強会

オンライン／参加無料
2024/8/3 (土)
13:00～15:00

東京大学医学部附属病院
内科診療部門循環器内科
桐山皓行助教

主催：一般社団法人心臓弁膜症ネットワーク
後援：一般社団法人日本循環器協会

参加者の声 (一部・抜粋)

- 心臓弁膜症の手術前の方、手術後の方の意見や気持ちを聞くことが出来た。
- 身近で心臓弁膜症の人が居ないので、講演や交流会はとても参考になりました。
- 勉強として伺いましたので先生のお話は筋道を通して病気について知ることができました。
- ご本人のお話は具体的でお気持ちがよくわかり、貴重な勉強をさせていただいたと思っています。
- 講演がわかりやすく良かった。
- 家族がこれから手術を受ける際の参考になりそうだった。もう少し具体例があるとありがたかった。
- 身近で同じ病気のことで話せる人がいないため、もっと頻繁に交流する機会があればいいと思いました。それでも、術後元気に過ごされている方とお話できたのは、励みになりました。こうした機会をくださり、感謝です。
- これから手術を受ける人にとっては、どんな情報でもとても参考になり有難いと思います。ホームページの内容も励みになりました。有難うございました。今後のイベントの開催は、関東までなかなか行けないためオンライン希望としましたが、近ければ対面で出来ればと思います。

対面勉強会

演題名	「あなたの望む治療をするために②」 ～当事者の体験から医療者とのコミュニケーションを考えてみよう～
日時	2024年11月17日(日) [勉強会] 13:00～14:30 [交流会] 14:45～16:00
対象	心臓弁膜症と診断された方、手術を控えている方、手術後の方、家族、支援者
費用	無料
形式	リアル開催(ビジョンセンター新橋 1702)
内容	【第一部:勉強会】①「シェアード・デシジョンメイキング」について②座談会(患者、医療者それぞれの経験を振り返り、患者と医師との対話のコツや治療のターニングポイントなどを話す) 【第二部:交流会】 勉強会終了後に交流会を開催
参加者数	勉強会20名

参加者の声 (一部・抜粋)

- あたたかい雰囲気での学びの多い会でした。
- YouTubeで過去の勉強会が見れるのが大変、ありがたいです。
今回、桐山先生のお話が直接、聞いて良かったです。
医師と当事者との座談会形式だったので、「私も同じ気持ちになったことがある」と思いながら、参加させていたきました。交流会に参加したのは2回目でしたが、ご家族の方のお話が初めて聞いたのが嬉しかったです。あと、お話する機会はなかったのですが、女性の参加者が以前はいなかったのが、増えたのも良かったです。対面での勉強会。交流会の機会が増えたら嬉しいです。また、ボランティアでお手伝いできることがあれば参加させていただきたいです。よろしくお願いいたします。
- 医師は100パーセントではない、という一言が心に残りました。受診するときの意識が変わりました。病院行きます！



相談対応

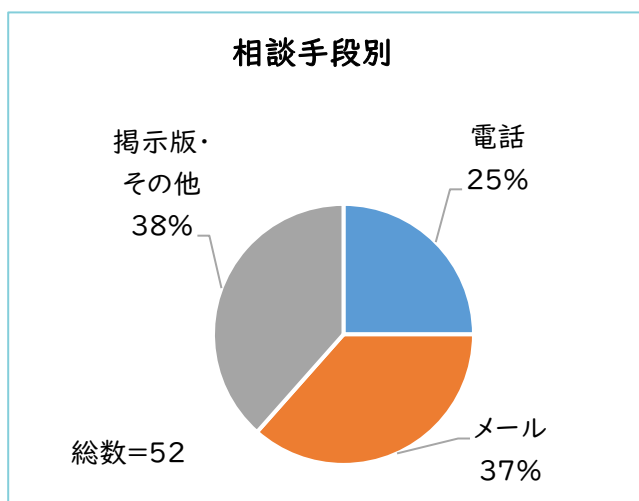
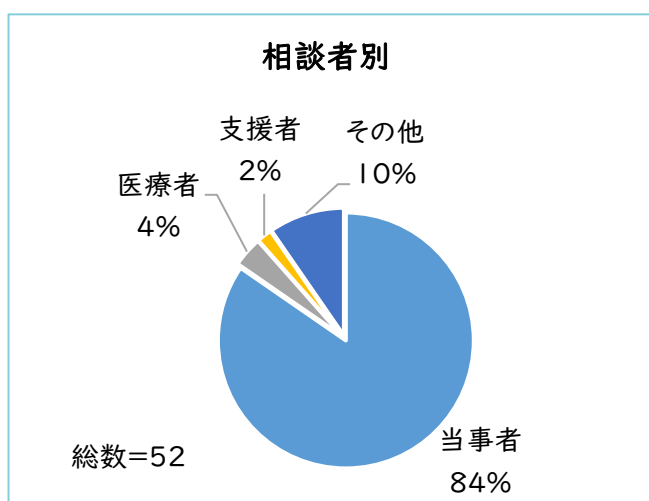
心臓弁膜症患者等からのメール・電話での相談に対応しました。一般的な制度、生活についての相談にのみ対応し、医学的な相談に関しては基本的に主治医へ相談するよう勧めました。2024年度は、代表理事による継続的な電話や対面での相談対応が増え、相談後の近況報告も多くあったことが特徴でした。相談内容としては、医師とのコミュニケーション、治療の方針、入会や寄付方法、運動や食事など日常生活に関するものがありました。

相談者別

種別	当事者	家族	医療者	支援者	その他	合計
件数（件）	44	0	2	1	5	52
時間（分）	1,515	0	90	60	690	2,355

相談手段別

種別	電話	メール	その他（掲示板など）	合計
件数（件）	13	19	20	52
時間（分）	510	1,185	660	2,355



ウェブサイトでの情報発信

心臓弁膜症の基礎知識、生活における課題解決に関する知識の普及・啓発として、以下の通りウェブサイトにて情報発信を行いました。

- 週1回心臓弁膜症関連ニュースの配信（リハビリ、最新の治療・研究に関する情報、食事情報等）
- 減塩レシピはシリーズ化して月1回配信
- 体験談の掲載
 - 2024年4月 僧帽弁閉鎖不全症 藤原正樹さん「治そうとする思いの大切さ」
 - 2024年5月 完全大血管転位症、肺高血圧症、三尖弁閉鎖不全症等 大場奈央さん
「自分の経験を、よりよい療養環境に向けて」
 - 2024年7月 大動脈弁閉鎖不全症 木村 慎司さん「自分の体験を今不安になっている人に伝えたい」
 - 2024年10月 僧帽弁閉鎖不全症 山田 直樹さん「がむしゃらに駆け抜けるなか、突然の医師の一言」



Patient Journey Report日本語版公開の広報協力

Global Heart Hub、The Health Policy Partnership発行の、心臓弁膜症と診断された当事者の治療やケア、予防及び生活における道のりを包括的に示したレポートの日本語版が公開されました。

日本循環器協会がGlobal Heart Hub 資料翻訳を実施し、当会では広報に協力しました。



講演会登壇等

- 2月2日 日本循環器協会主催「Go Red for Women Japan 健康セミナー『女性のココロと心臓のはなし-赤をまとい女性の心臓病を考える-』」パネリスト登壇(寺田)
- 3月20日 市民公開講座「循環器病後の豊かな生活を目指して:脳卒中・心臓病後の維持期・生活期リハビリテーションと社会生活」後援・パネリスト登壇(福原)
- 東京都保健医療局 とうきょう脳卒中・心臓病ガイド ウェブサイトに体験談寄稿(福原)
- 10月19日「ASIA-PACIFIC HEART SUMMIT 2024」パネリスト登壇(福原)
- 11月10日 日本循環器看護学会設立20周年企画市民公開講座パネリスト登壇(寺田)

5. (イ) 調査研究や政策提言、研修活動に関する事業

定款3条第2号に定める事業「当法人の目的及び課題についての調査研究や政策提言、研修活動に関する事業」として、次を展開しました。

Global Heart Hub 心臓弁膜症協議会会議、トレーニングへの参加

6月にアイルランドで開催されたGlobal Heart Hub 心臓弁膜症協議会会議、トレーニングに福原が参加し、心臓弁膜症の啓発予防への取り組みについて情報収集、意見交換を行いました。

日本医療政策機構 医療DXプロジェクト 当事者ヒアリング調査報告「医療のDX時代を迎え生きる当事者たち」公開

政府により2022年に指針が示された医療DX(デジタル・トランスフォーメーション)について、循環器病当事者としての現状の課題、医療DXについての参加したヒアリング(2023年10月)が日本医療政策機構より医療DXプロジェクト 当事者ヒアリング調査報告「医療のDX時代を迎え生きる当事者たち」として6月に公開されました。

高知県立大学看護学部への研究協力

「心疾患をもつ方の服薬アドヒアランスを維持するための取り組み」についての研究協力で、心不全で入院治療の経験のある方向けのインタビューへの協力者募集(メルマガでの広報)を7月に行いました。

日本医療政策機構 会員制ウェブサイトに参加者として掲載(福原)

患者・当事者の経験を活かして医療政策に参画するための情報発信や、交流のためのプラットフォームが展開される「みんなの患者・当事者 参画プラットフォーム(J-PEP: Japan's Patient Expert Platform)」に個人として福原が参画者として8月に掲載されました。

東京都立大学看護学科への研究協力

「開胸術を受けた心臓疾患患者のリハビリテーション時の医療者の関わり」についての研究への協力で、開胸術を受けた心臓疾患患者向けのインタビューへの協力者募集(メルマガでの広報)を10月に行いました。

ASIA-PACIFIC HEART SUMMIT 2024、APAC CVD PATIENTS' ROUNDTABLEに参加

10月にタイで開催された循環器病に係る関係者が集まる会議に患者の立場から福原が参加し、「日本の健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」「循環器病対策推進基本計画」と都道府県での「循環器病対策推進計画」について成立の背景、期待、課題について行政、医療者、患者・市民の観点から紹介するパネルディスカッションに参加しました。

6. (ウ) 心臓弁膜症患者、家族の交流と連携、自助と共助を促進するために必要な事業

当事者、家族の交流と連携、自助と共助を促進するために必要な事業として、交流会、SNSでの情報発信を行いました。

SNS・PPeCCサロンの運用

オンラインコミュニティであるX、Facebookを利用し、患者、支援者にとって親しみやすい、心臓弁膜症の情報発信の拠点を目指しています。

Xフォロワー数 1195人(12月31日現在)
Facebookいいね数 168人(12月31日現在)



@hvv_jp



@HeartValveVoiceJpn

医学的な相談は主治医に相談するように促す一方、感情面の問題に寄り添えるような返信を理事が行いました。



交流会

交流会をオンライン2回と対面1回の計3回、開催しました。オンライン交流会ではテーマを設けて交流を行う初めての取り組みを行いました。

	第1回交流会	第2回交流会	第3回交流会
日時	2024年6月15日(土) 20:00~21:30	2024年10月25日(金) 20:00~21:20	2024年11月17日(日) 15:50~17:10
参加者数	10名	11名	12名 ボランティア3名
対象	心臓弁膜症と診断された方、手術を控えている方、ご家族、支援者の方、興味のある方		
参加費	無料		
内容	フリートーク	「術後の生活」	フリートーク
形式	Zoomミーティング	Zoomミーティング	対面

参加者アンケート結果（抜粋）

- ・ 術前術後を問わずさまざまな不安を抱く方が多くいることを改めて知ることができすごくありがたかったです。
- ・ 同じ弁膜症にり患している方とはじめてお話しでき、大変勇気づけられました。
- ・ 交流を通して患者サイドからの意見がいろいろ聞けて良かったです。
- ・ 本日はこのような貴重な機会をいただき、ありがとうございました。手術を控え、沢山調べ学んだつもりですが、心臓ということで不安は拭えませんでした。今回、手術を乗り越えられた皆さまと直接お話しをすることで大変勇気づけられ前向きな気持ちになりました。理事会の皆さまがスムーズに進行くださったおかげで有意義なディスカッションができました。ありがとうございました。お尋ねしたいことは多々ありましたが、どこまで込み入った質問をして良いのか判断が少し難しかったです。
- ・ 参加してよかった。医師ではなく、患者当事者の経験と意見はとても貴重だった。手術を終えた当事者の元気な姿は、「これからどうなるのか」という不安に対して大きな励ましになる。
- ・ 楽しみにしていた交流会でしたが、残念ながら今回参加が遅れました。まだ子どもが幼いため、夕飯の片付けをしてから、子供をお風呂に入れたりしていたら、すっかり時間を忘れていました。それでも遅くに参加したにも関わらず、皆さまが話を聞いてくださり、ありがたかったです。ありがとうございました。
- ・ 今回の交流会は私にとってとても大切な時間になりました。同じような思いを抱えている仲間と繋がれる喜びを感じました。このような場を立ち上げてくださって感謝します。ありがとうございます。
- ・ 同じ大病を経験された方々なので、話がすぐに伝わる気がして安心して自分の事を話せる。
- ・ 今回初めて参加させていただきました。同じ疾患を持つ人たちとお話ができてとても貴重な時間でした。GWは少人数でワールドカフェの形式はとても話しやすい環境でした。もう少し時間があるとよかったような気がします。



ボランティア

これまではイベントサポートが主な活動でしたが、ボランティアの会議体を構築し、ボランティア同士の連携を促進しました。

ボランティア登録者数 23名(昨年度から+4名)
LINE登録者数 15名(昨年度から+2名) (理事・事務局除く)



ボランティアミーティング

10月27日(日)14:00~15:45にオンラインと対面のハイブリッドで開催し、オンライン1名、対面4名の方にご参加頂きました。心臓弁膜症ネットワークの活動や、ウェブサイトについての意見交換を行いました。

ボランティアLINEグループ

グローバル啓発キャンペーンやイベントの告知の協力や、掲示板へのコメント投稿、イベントサポートの呼びかけ等をLINEグループで実施しました。



7. (エ) 当法人の活動に関する情報提供、宣伝活動に関する事業

ウェブサイト、SNSでの情報発信

X、Facebookでイベント情報、活動報告の発信を継続しました。ウェブサイトと連動して毎週月曜日に情報を発信しました。

	2024	前年比
ウェブサイトPV数	106,560	-17.0%
Facebookリーチ数	3,320	-12.7%
Xインプレッション数	188,158	-7.3%

メールマガジンの配信

会員向けに月1回メールマガジンを発行し、イベント開催情報、活動報告を配信しました。



グローバルの取り組み

ヨーロッパ・南北アメリカからはじまり、アジア、オセアニアもカバーする心臓疾患関連の連合組織Global Heart Hubが主宰する心臓弁膜症啓発ウィークの日本展開を実施しました。

キャンペーン名	心臓弁膜症Evergreen 啓発キャンペーン
開催期間	2024年6月18日～9月16日
実施内容	年間を通し心臓弁膜症に関する正しい知識を普及し、早期発見・適切なタイミングでの治療へつなげるため、心臓弁膜症の基礎知識や体験談の発信をX、Facebookページで隔週火曜日に発信。SNSでは心臓弁膜症の症状、聴診の重要性、体験談を配信。兆候に気づき、速やかに医療機関を受診できるよう啓発を実施しました。
特設ページ	https://heartvalvevoice.jp/news/evergreen/

キャンペーン名	心臓弁膜症啓発ウィーク
開催期間	2024年9月16日～22日
実施内容	ウェブサイト・YouTube・X・Facebook・Instagramでハッシュタグ「#あなたの心臓の声を聴こう」で情報発信を行いました。エドワーズライフサイエンス社にて動画を社内モニタに投影、キャンペーンとポスターのことも紹介されました。
リーチ数	閲覧された可能性（インプレッション数）総計 国内1.3万回 ウェブサイト（137）、X（13,317）、Facebook（425）、Instagram（130） グローバル：2600万回以上
特設ページ	https://heartvalvevoice.jp/news/hvvawarenessweek-2024



8. (オ) その他当法人の目的を達成するために必要な事業

会員の獲得

2024年度で会員数は433名から489名に増加しました。会員には交流会や勉強会の先行案内をメールマガジンで行いました。

スポンサーの獲得

4月にオンラインで活動報告会を開催しました。

日時	2024年4月22日(月)18時~19時
対象	心臓弁膜症ネットワークを支援いただいている企業・個人
参加費	無料
形式	Zoomミーティング
内容	2023年度の活動報告、2024年度の活動計画の発表、意見交換会
参加者数	5名

参加者の声 (一部)

- ・ 当社で啓発動画を作成し100万回以上の再生数があった。その対象は潜在的な対象者であり、数を追うために策を練った。患者会での活動の場合は当事者に病気が分かったきっかけや自覚症状を聞くことができる。分かる前、分かった後のきっかけを知ると患者会での啓発のポイントが分かるのではないかと思います。
- ・ 自身も家族にも持病があり患者会に属しているが、当事者である会員にとっては患者会の会員数が多いか少ないかについてはそれほど大きなインパクトはないと思っている。それよりも相談できる先がある、つながっている先があるという心強さが大事だと思う。そういったつながりをどう提供するかが大事だと思う。

9. 組織等の現況

理事会と総会の開催状況

1) 2024年 第1回理事会	3月25日 出席者 理事4名 監事1名	決議事項 報告事項	第5期計算書類及び事業報告並びにこれらの附属明細書承認の件 定時社員総会招集の件 業務執行状況報告その他
2) 2024年度 定時社員総会	3月25日 出席者4名	主な議題	第5期計算書類及び事業報告並びにこれらの附属明細書報告の件
3) 2024年 第2回理事会	6月17日 出席者 理事4名 監事1名	報告事項	業務執行状況報告その他
4) 2024年 第3回理事会	9月19日 出席者 理事4名 監事1名	報告事項	業務執行状況報告その他
5) 2024年 第4回理事会	12月18日 出席者 理事3名 監事1名	決議事項 報告事項	2025年度事業計画・予算について 理事会運営規程一部改訂について 2024年度収支報告(仮締)、業務執行状況の報告その他



10. 2024年度の総括と次年度に向けて

心臓弁膜症の治療の様々なステージにおいて経験者の声に対するニーズや期待があるのに、気軽に情報交換できる場はほとんどないことから同じ病気をもつ仲間と共に当会を2019年に設立しました。これまでの活動を通じて病気をもつ人に声を届け、同時に病気をもつ人の声を関係者に伝えることに注力してきました。心臓弁膜症と当会の活動が広く認知されてきたことをみると、大きな成果があったと振り返ることが出来ます。しかしながら、届ける、伝えることのむつかしさも感じることがあります。

患者・当事者と共に、あるいは患者中心、患者参画の医療の重要性が説かれますが、日々の生活の何で実感することはありますでしょうか？患者・当事者といっても希望や要望はそれぞれ個々に違います。その中から合意に至るためには何が必要でしょうか？声を届ける、伝えるにはどうするのが最適なのでしょうか？その仕組みや基礎は十分でしょうか？

私たちを支援してくださる企業・個人の方々、Global Heart Hub、日本循環器協会、日本医療政策機構をはじめとする団体の方々と共に心臓弁膜症をもつ人のいまとこれからをより良いものにするためにこれかも考え、行動していきたいと思います。

みなさまからのご支援を引き続きお願いいたします。

一般社団法人心臓弁膜症ネットワーク
代表理事 福原 斉



実施内容	
通年	・ 会員向けメールマガジン配信:第1月曜日 ・ 支援者向けニュースレター配信:年4回(2月、5月、8月、11月) ・ 相談対応:随時 ・ 中期計画策定、ウェブサイト、会員サービスの見直し等、事業運営に必要なこと:随時
1月	
2月	
3月	10日(月)第1回理事会 21日(金)社員総会開催、第2回理事会
4月	24日(木)支援者向け活動報告会
5月	
6月	15日(日)対面交流会 16日(月)第3回理事会
7月	
8月	23日(土)オンライン勉強会
9月	心臓弁膜症啓発ウィーク期間 19日(金)第4回理事会
10月	オンライン交流会
11月	対面勉強会、交流会
12月	22日(月)第5回理事会(予算・事業計画決議)

